| 学校番号 | 2101 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 古典探究 | 単位数 | ４単位 | 年次 | 全年次(現代の国語・言語文化履修後) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「精選　古典探究」（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 「古典常識も学べる　新明説総合古典文法」（尚文出版） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古文・漢文の様々な作品を取り上げ、探究します。古文においては、作品を理解するために必要な語句の学習、助動詞・敬語を中心とした文法事項、さらには古典常識や文学史も学習します。

漢文においては、訓読から読解のために必要な語句・句法を学習し、作品の背景となる漢文の基本常識・歴史的な背景についても学習します。

古文漢文の表現を通し、登場する人物の心情や行動を理解し共感すると共に、作品世界を味わう時間を持ちましょう。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・古典（古分・漢文）を読み味わうために必要な言葉や文法の知識を身につけ、古典文化への理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
・古典（古文・漢文）を読む能力を養い、その理解と関心を深める中で、ものの見方・感じ方・考え方を広げることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させることができる。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・古文・漢文を正しく音読・訓読すると同時に内容を読み取ることができる。<br>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語彙の量を増やして語感を磨き、語彙に対する感性を豊かにしている。<br>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 | ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容・作者の意図を的確にとらえることができる。<br>・教材文を正確に読み取り、自分の知識や意見と結びつけた上で、理解を深めることができる。<br>・場や課題に応じた形で自分の考えをまとめ、適切な表現で書き表すことができる。 | ・古文・漢文の様々な作品と、その世界に関心を持ち、作品から、ものの見方や価値観、美意識を積極的に学習する態度を養う。<br>・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前半 | 古文を味わう<br>（歴史的仮名遣い、動詞）<br>［教材］<br>『今昔物語集』<br>阿部清明 | a: 子分特有の言葉の決まりを理解している。<br>b[読]:教材文の物語の内容を正確に理解し、作品を著わした作者の意図を理解している。<br>c:日本の言語文化に興味を持ちながら学習する姿勢がある。 | ・ワークシート<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・行動の観察<br>・単元テスト |
| | 古文を味わう<br>（文法、敬語表現）<br>［教材］<br>『大鏡』<br>花山院の出家 | a:教材文中の助動詞や古典文化について理解している。<br>b[読]:文章の内容、構成や主題について的確にとらえている。<br>c:歴史物語の特徴をふまえ、人物や事件についての作者のとらえ方について考えている。 | ・ワークシート<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・行動の観察<br>・単元テスト |
| | 古文を味わう<br>［教材］<br>『源氏物語』<br>若紫との出会い | a:教材文中の古典文化について理解している。助動詞などの文法事項を理解している。<br>b[読]:内容を読み解き、登場人物や作者の心情を想像することができる。<br>c:古文を読むうえで重要な語句や文化を確認し、古文の雰囲気を味わおうとしている。 | ・ワークシート<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・行動の観察<br>・単元テスト |
| | 漢文を味わう<br>［教材］<br>『源氏物語』<br>葵の上と物の怪 | a:漢文を訓読する際のきまりを理解している。<br>b[読]:訓読のきまりに注意しながら、教材文を正確に書き下し、内容を理解できている。<br>c:漢文を訓読する際のきまりを理解しようとしている。 | ・ワークシート<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・行動の観察<br>・単元テスト |
| 後半 | 古文を味わう<br>［教材］<br>『更級日記』<br>源氏の五十余巻 | a: 古文特有の言葉の決まりを理解している。<br>b[読]:教材文の物語の内容を正確に理解し、作品を著わした作者の意図を理解している。<br>c:日本の言語文化に興味を持ちながら学習する姿勢がある。 | ・ワークシート<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・行動の観察<br>・単元テスト |
| | 古文を味わう<br>［教材］<br>『源氏物語』<br>葵の上と物の怪 | a:教材文中の助動詞や古典文化について理解している。<br>b[読]:文章の内容、構成や主題について的確にとらえている。<br>c:歴史物語の特徴をふまえ、人物や事件についての作者のとらえ方について考えている。 | ・ワークシート<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・行動の観察<br>・単元テスト |
| | 古文を味わう | | ・ワークシート | ・記述の点検 | ・記述の点検 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ［教材］<br>『万葉集』 | a:教材文中の古典文化について理解している。助動詞などの文法事項を理解している。<br>b[読]:内容を読み解き、登場人物や作者の心情を想像することができる。<br>c:古文を読むうえで重要な語句や文化を確認し、古文の雰囲気を味わおうとしている。 | ・発問<br>・単元テスト | ・発問<br>・単元テスト | ・行動の観察<br>・単元テスト |
| | 漢文を味わう<br>［教材］<br>『論語』<br>「暴虎馮河」「過猶不及」 | a:漢文を訓読する際のきまりを理解している。<br>b[読]:訓読のきまりに注意しながら、教材文を正確に書き下し、内容を理解できている。<br>c:漢文を訓読する際のきまりを理解しようとしている。 | ・ワークシート<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・発問<br>・単元テスト | ・記述の点検<br>・行動の観察<br>・単元テスト |

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　０　）時間

・読むこと　…　（　１４０　）時間